

令和7年度
第2学年 人権教育にかかわる年間指導計画

人権教育にかかわる年間指導計画作成のための方針

- 教師と児童の信頼関係を築き、一人一人のよさを認めることを重視した指導をする。
- 児童の望ましい人間関係の育成のために、道徳授業を中心に、道徳教育を学校の教育活動全体を通じて行い、各教科においては、児童がかかわり合う学習活動を行うようにし、ともに学び合うことの大切さを実感することができる指導を展開する。
- 教科の学習、特別活動、学校行事、日常の社会生活の中で関連を図り、人権課題について学ぶことができるようにする。

4月 5月 6月 7月 8月(夏季休業) 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

学級経営

基本方針: 友達を大切にする。思いやりの心を養う。
生活指導: 友達や物・動植物を大切にすることを養う。

→ 自分以外の人に対して、思いやりや優しさをもてるような環境づくりを目指す。
→ 生命の大切さを教え、安全に気を付けて生活させる。
→ お互いのよさを認め合える学級作りをしていく。

○動植物の世話をすることは、命を大切に、自然愛護につながることを知る。
○友達と力を合わせる大切さを学ぶ。
○自分の考えだけでなく、友達の意見も大切にする。

※思いやりの一言が、友達を助け、学級全体にもよい影響を与えていることに気付かせる。

各教科

音楽
○「てびょうしりレーであそぼう」
友達と一緒に歌ったり身体表現をしたりする楽しさを感じ取る。

生活
○「野さいをそだてよう」
植物の栽培に関心をもち、愛着をもって継続的に世話をする。
○「まちたんけんにいこう」
地域の人や場所、自然などに関心をもち、かかわりを広げようとする。

生活
○「生きものをそだてよう」
生き物の飼育を通じて、親しみをもって大切にする。

せいかつ
○「つたえたいなまのすてきなできごと」
地域の人の仕事や施設のよさを伝え合う。

特別の教科

道徳

友情・思いやり・あいさつ
友達と仲良くし、助け合おうとする心情を育てる。

いじめをなくす
身近にいる人々にあたたかい心で接し、親切にする。

じょうほうとむきあう
よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行う。

愛校心・(善悪の判断と勇氣)
先生を敬愛し、学級や学校生活を楽しくとする心情を育てる。

特別活動

学級活動
「集団生活に慣れ、仲良く学校生活ができるようにする。」

学級活動
友達の意見を尊重し、自分の考えもしっかりもつ。

学級活動
日常生活の中から具体的に親切にできた場面を発表する。

学級活動
他のよいところを認めたくえて、自然愛護の大切さを指導していく。

その他

《保護者会等》
家庭からの連絡から児童一人ひとりの実態を把握する。
○一年生を迎える会のあと、一年生に学校を案内する計画を立てる。

《帰りの学級活動》
帰りの会の「今日よいことをした友だち」コーナーで、思いやりの行為をみんなで認め合い、意欲づけにつなげる。

※集団の一員としての自覚をもたせ、みんなで協力しながら楽しく活動できるようにさせる。